

編集・発行：公益社団法人教育文化協会

〒101-0062

東京都千代田区神田駿河台3-2-11 連合会館1F

tel 03-5295-5421 fax 03-5295-5422

URL <https://www.rengo-ilec.or.jp/>

発行責任者：専務理事 木村裕士

第12回連合・ILEC幸せさがし文化展 ー働く仲間とその家族の公募展ー

～ 入賞者・入賞作品が決定 ～

「連合・ILEC幸せさがし文化展」は、働く仲間とその家族の文化活動の支援を目的に、絵画・写真・書道・俳句・川柳の5部門の公募展として開催しています。

第12回「連合・ILEC幸せさがし文化展」は、絵画120点、写真1,049点、書道273点、俳句2,189点、川柳3,023点の総計6,654点の応募がありました（うち、一般からの応募6,088点、連合組織内からの応募566点）。これは、前回の第11回における応募数を2,120点上回り、5部門での開催をはじめた第4回（2005年）以降で、最多の応募数となりました。

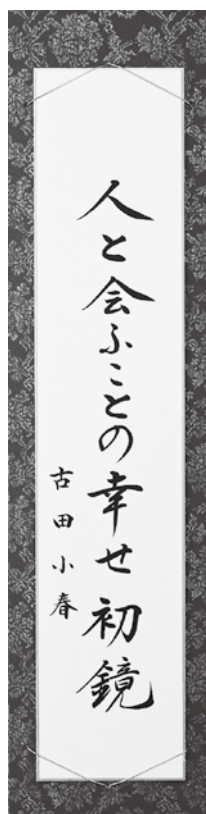
厳正な審査の末、各部門の入賞者を決定し、10月6日の連合第17回定期大会で入賞者を報告いたしました。各部門の連合大賞は以下のとおりです。（全入賞作品は、ILECホームページでご覧いただけます。）

○書道の部



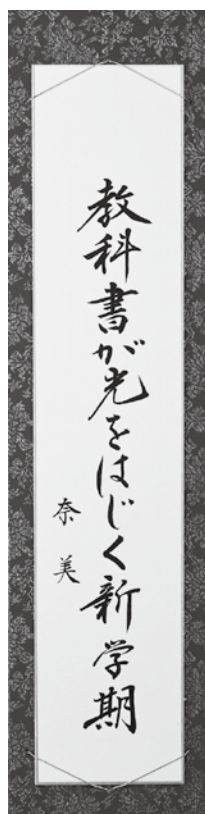
「雲蒸龍変」

○俳句の部



古田小春

○川柳の部



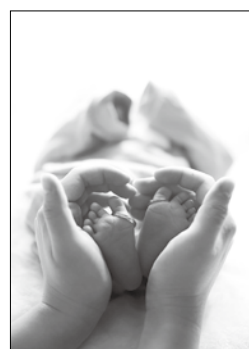
奈美

○絵画の部

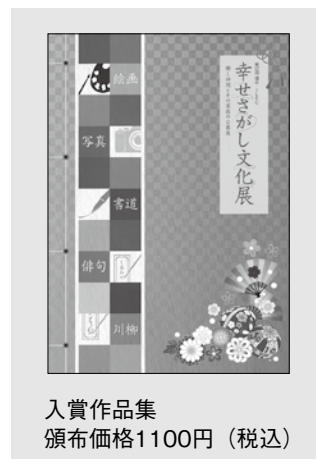


「石井ハトメ製作所」

○写真の部



「幸せのカタチ」



入賞作品集
頒布価格1100円（税込）

幸せさがし文化展 連合大賞・ILEC大賞・シニア特別賞・ジュニア特別賞 入賞者・入賞作品

(敬称略)

絵画の部

○連合大賞	「石井ハトメ製作所」	今井 達也	東京都
○ILEC大賞	「牛舎の朝」	銀 世	兵庫県
○シニア特別賞	「中国天津 古文化街」	蝦名 敏昭 (81才)	青森県退職者連合 東北ろうきん友の会
○ジュニア特別賞	「さかなすくい」	向井 桂治 (8才)	徳島県

写真の部

○連合大賞	「幸せのカタチ」	川瀬 健佑	愛知県
○ILEC大賞	「春散歩」	Miki Takeda	東京都
○シニア特別賞	「ハッピーベア」	犬飼 長年 (80才)	愛知県
○ジュニア特別賞	「明日への希望」	M Y u u k a (14才)	大阪府

書道の部

○連合大賞	「雲蒸龍変」	木原 大慶	埼玉県
○ILEC大賞	「閑居漫興五首其三」	宮島 悠果	東京都
○シニア特別賞	「西行の歌」	中西 甫子 (84才)	退職者連合NTT労組退職者の会 徳島県支部協議会
○ジュニア特別賞	「もらさず救い助けんと誓う心ぞ伝なる」	小野心丸知 (15才)	愛知県

俳句の部

○連合大賞	「人と会ふことの幸せ初鏡」	古田 小春	大阪府
○ILEC大賞	「大豪雪家を目指して足止めず」	い と	基幹労連JX金属 三日市リサイクル労組
○シニア特別賞	「新調の鍬の一打に春動く」	中澤 仁捷 (87才)	神奈川県
○ジュニア特別賞	「かじかむ手君のポッケに滑り込み」	宮崎 春菜 (13才)	静岡県

川柳の部

○連合大賞	「教科書が光をはじく新学期」	山下 奈美	静岡県
○ILEC大賞	「夏海君を光に奪われる」	板垣 宏	群馬県
○シニア特別賞	「富士まぶしようやく父母の墓建てり」	宏 汀 (90才)	東京都
○ジュニア特別賞	「まぶしいな私もほしい恋人が」	に ん じ ん (15才)	岡山県

入賞作品展覧会のご案内

以下の日程で展覧会を開催いたします。入場無料です。ぜひお越しください！

※展示作品は全部門、「入選」以外の入賞作品です。展示スペースの関係上、「入選」作品の展示はございません

開催日時：2021年11月17日(水)～21日(日) 11時～18時

場 所：東京芸術劇場 地下1階 アトリエイースト
東京都豊島区西池袋1-8-1

アクセス

J R・東京メトロ・東武東上線・西武池袋線 池袋駅西口より徒歩2分。
池袋駅地下通路2b出口と直結

連合寄付講座の後期講義がスタート！ ～全国各地に広まる～

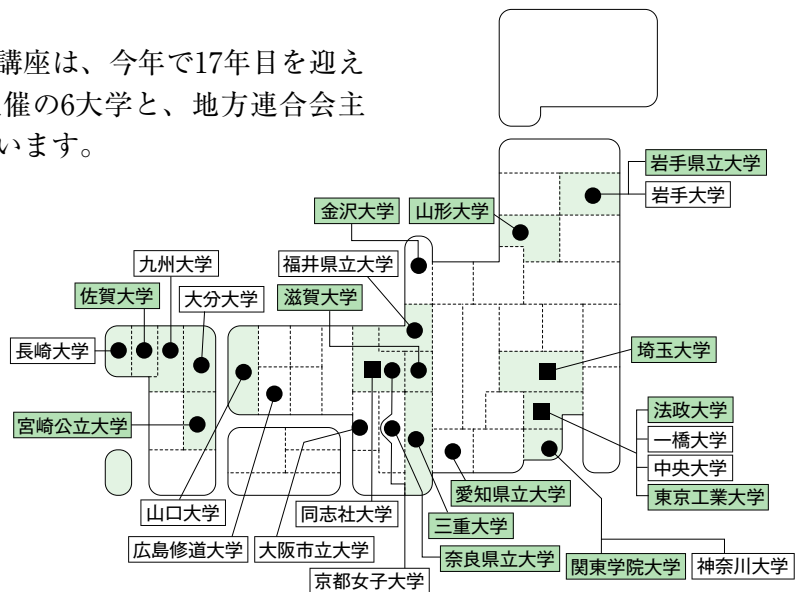
2005年にスタートした連合寄付講座は、今年で17年目を迎えました。現在は、教育文化協会主催の6大学と、地方連合会主催の20大学の計26大学で開講しています。

※緑色の枠の大学は後期開講中

※■は教育文化協会主催の連合寄付講座

※神奈川大学、大阪市立大学、広島修道大学は新型コロナウイルス感染症等の影響により、2021年度の開講見送り

※このほか、連合沖縄が沖縄大学で自主的に寄付講座を開講



地方連合会主催の連合寄付講座では、各地域の労働事情を踏まえた特色あるプログラムが組み立てられ、地方連合会の役員を中心とした労働運動の第一線で活躍する講師陣が講義を行っています。後期は12大学で開講し、そのうちIL E Cが主体となっていく寄付講座は、法政大学・埼玉大学・東京工業大学の3大学で開講しています（プログラムは下記・次頁参照。所属団体・役職については講義日時点のもの）。

法政大学は今年で9年目、埼玉大学は15年目、東京工業大学は3年目を迎えました。

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、前期に引き続き、後期もオンライン講義での開講が多く、対面授業は一部の大学に留まっています。どのような講義形態であっても、学生のみなさんが多くの学びを得ることができるよう、さまざまな工夫を重ねて進めてまいります。

連合寄付講座は連合、連合構成組織、地方連合会のご協力なしには企画・運営できない事業です。今後も引き続きのご支援をお願いいたします。

2021年度東京工業大学大学院 連合寄附講義プログラム

『理工系学生のためのワークルール入門Ⅰ』

回	日程	講義テーマ	ゲストスピーカー
1	10/5	イントロダクション	西田 亮介 東京工業大学 准教授
2	10/12	【課題提起】 連合寄付講座について 働く者を取り巻く情勢と課題	南雲 弘行 教育文化協会理事長
3	10/19	【ワークルールに関する基礎知識①】 ・労働相談から見る職場の現状 ・労働契約・就業規則・賃金	連合本部 フェアワーク推進センター
4	10/26	【ケーススタディ①】 パート・有期契約労働者等の組織化 と処遇改善の取り組み	立花 正貴 伊藤ハム労働組合 中央副執行委員長
5	11/2	【ケーススタディ②】 職場の声を集める (職場の課題改善に向けた取り組み)	松尾 剛志 富士通労働組合 中央副執行委員長
6	11/9	【ケーススタディ③】 新しい働き方への対応	連合本部 労働法制局
7	11/16	【総括提起】 「働くこと」について考える	西田 亮介 東京工業大学 准教授

『理工系学生のためのワークルール入門Ⅱ』

回	日程	講義テーマ	ゲストスピーカー
1	12/7	イントロダクション	西田 亮介 東京工業大学 准教授
2	12/14	【ワークルールに関する基礎知識②】 ・労働時間・休暇取得 ・働き方改革関連法・労働安全衛生・ 労働災害・雇用保険	連合本部 労働法制局
3	12/21	【ワークルールに関する基礎知識③】 ワークルールを知る	長谷川 裕子 日本ワークルール検定 協会専門調査員 (元連合総合労働局長)
4	1/11	【ケーススタディ④】 労働組合と政治・政策	連合本部 政治センター事務局
5	1/18	【ケーススタディ⑤】 働き方と賃金 (企業における賃金決定のプロセス)	伊藤 彰英 基幹労連 事務局次長
6	1/25	【修了講義】 課題提起 (東工大の学生に期待することなど)	連合本部 三役
8	2/1	【教員による論点整理】	西田 亮介 東京工業大学 准教授

※講義時間は、火曜日14：20～16：00

Zoomによるオンライン授業（同時双方向型）

2021年度法政大学 秋学期「連合寄付講座：働くということと労働組合」プログラム

回	日程	講義テーマ	ゲストスピーカー
1	9/21	【オリエンテーション】労働組合とは何か	梅崎 修 法政大学 教授
2	9/28	【開講の辞】 連合寄付講座で法政大学の皆さんに学んでほしいこと 【課題提起①】 「働くこと」について考える ～労働組合の役割と意義～	木村 裕士 教育文化協会 専務理事
3	10/5	【課題提起②】いま働く現場で何が起きているのか ～労働相談からみた若者雇用の現状～	山本 和代 連合 副事務局長
4	10/12	【ケーススタディ①】労働組合の役割と組合役員の活動 ～現場の意見集約から職場の課題改善をめざす～	洞井 佳 住友生命労働組合 中央書記長(生保労連)
5	10/19	【ケーススタディ②】 非正規労働者の組織化と処遇改善に向けた取り組み	加邊 直樹 TOTO UNION 中央執行委員長 (セラミックス連合)
6	10/26	【ケーススタディ③】労働時間の短縮に向けた取り組み	大崎 真 電機連合 中央執行委員
7	11/2	【ケーススタディ④】 男女がともに働きやすい職場づくりに向けた取り組み	下山 恵史 通建連合ミライトグループ労働組合 ミライト企業本部 書記長 (情報労連)
8	11/9	【ケーススタディ⑤】 公務労働の現状と公共サービスの役割	榎本 朋子 自治労 総合企画総務局長
9	11/16	【ケーススタディ⑥】雇用と生活を守る取り組み	川野 英樹 JAM 副書記長
10	11/30	【課題への対応①】 国際労働運動の役割 ～グローバル化への対応～	元林 稔博 国際労働財団 事務長
11	12/7	【課題への対応②】 労働者保護ルールの堅持・強化に向けた取り組み	連合本部
12	12/14	【課題への対応③】 労働諸条件の維持・向上に向けた取り組み	連合本部
13	12/21	【修了講義】 連合運動の現在と未来 ～これから社会へ出る皆さんへ～	連合 本部三役 【コーディネーター】法政大学 教員
14	1/11	【論点整理】「働くということ」と労働組合	法政大学 教員

※講義時間は、火曜日15:00～16:40 9月はオンライン授業（同時双方向型）、10月から対面授業

2021年度埼玉大学 第4ターム「連合寄付講座：働くということと労働組合」プログラム

回	日程	講義テーマ	ゲストスピーカー
1	12/1	【開講の辞】 連合寄付講座において埼玉大学生に学んで欲しいこと 労働者を取り巻く現状と課題を知る ～労働組合が果たすべき役割とは	南雲 弘行 教育文化協会理事長
2		「働くということ」をどうとらえるか	高木 郁朗 日本女子大学名誉教授
3	12/8	労働相談から見た働く現場の現状と労働組合の取り組み	連合本部 総合運動推進局
4	12/11	労働組合をつくる	連合東京 高橋 良昭 いなげや労働組合 中央執行委員長 川崎 憲治 ウェルパーク労働組合 中央執行委員長
5	12/15	組合員の処遇改善に向けた取り組み ～国立印刷局で働く労働者の処遇改善に向けて～	梅原 貴司 全印刷局労働組合委員長
6		非正規雇用労働者の処遇改善をすすめる ～新型コロナウイルス感染拡大の影響と労働組合の取り組み～	田岡庸次郎 ライフ労働組合 執行委員長
7		仕事と生活の両立に向けた取り組み ～テレワーク等の働き方の変化への対応～	前田 修平 味の素労働組合 中央執行委員長
8	12/22	雇用を守る ～労働組合の政策活動 ハイヤー・バス・タクシー等の 自動車交通産業における取り組み～	松永 次央 全自交労連書記長
9	1/12	多様な人材の活躍を推進する ～外国人労働者の組織化・処遇改善の事例を中心に～	香川 功 連合大阪 副事務局長
10		地域で雇用と生活を守る	平尾 幹雄 連合埼玉 事務局長
11	1/19	連合の賃金に関する取り組み	連合本部 総合政策推進局
12		労働者保護ルールの維持・強化に向けた取り組み	連合本部 総合政策推進局
13	1/26	国際労働運動の課題と対応	吉田 昌哉 ITUC-AP書記長
14	1/26	【修了講義】 連合運動の現在と未来 ～これから社会にでる皆さんへ～	連合本部 三役
15	2/2	教員によるまとめ	金井 郁 埼玉大学教授

※講義時間は、水曜日15:00～16:20・16:30～17:50 Zoomによる録画配信

● 第18回「私の提言」●

コロナ禍を乗り越え、「働くことを軸とする安心社会—まもる・つなぐ・創り出す—」
の実現に向けて連合・労働組合が今取り組むべきこと」募集

～6編の入賞提言が決定～

教育文化協会は、連合と共催で第18回「私の提言」を募集し、今回は60編の提言が寄せられました。多くのみなさまにご応募いただき、誠にありがとうございました。9月8日（水）に開催した運営委員会（委員長＝教育文化協会・南雲理事長）では、14名の運営委員による審査を行い、以下の6編の入賞提言を決定いたしました。

10月6日（水）の第17回連合定期大会で表彰式の予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響で規模縮小の一日開催となったため、結果報告のみ行い、代替イベントを現在検討中です。

イベントに先立ち、優秀賞の佐久間悠太さんには、受賞コメントをお寄せいただきました。佐久間さんは、雇用におけるジェンダー平等の社会を目指すための、政治分野におけるクォータ制度の導入に向けた運動の展開について提起されました。

今後、入賞提言6編を掲載した入賞提言集を発行し、会員組織に配布いたします。あわせて教育文化協会ホームページにも掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

<入賞提言>

（敬称略）

賞	氏 名	所 属	提言タイトル
優秀賞	佐久間悠太	中日本高速道路労働組合 東京支部 書記長	ジェンダー平等に基づくポストコロナ時代の安心社会の実現に向けて —政治分野における「クォータ制度」の導入に向けた運動の展開
佳作賞	加藤 真梨	一橋大学社会学部2年	教師の労働条件改善に向けて —持続的な教育を目指して労働組合ができること—
	鄭 ハナ	福岡県地方自治研究所 研究員	実効性ある感情労働者権利保護法制の構築を目指して
奨励賞	工藤 孝之	茅ヶ崎市役所生活支援課 就労支援相談員	コロナ禍で急増した生活困窮者の自立・就労に関する—考察 ＝今、労働組合に求められるブレークスルー＝
	霜永 智弘	同志社大学・社会学研究科・産業 関係学専攻・博士課程（前期課程） ・2年次	セーフティーネットから洩れた若者たち —労働知識や情報を獲得するためのプラットフォームの構築に向けて—
学 生 特別賞	島田 紗英	一橋大学社会学部3年	男性育休取得率の向上に関する提言 —賃金と休業制度の観点から—

● 優秀賞 佐久間さん受賞コメント ●

新型コロナウイルス感染症の拡大は女性の貧困を可視化させました。男女雇用機会均等法が制定され随分経ちましたが、いまだに雇用の面では男女平等とは言えない部分が存在しています。

私は、企業別組合の執行役員として活動するなかで、男女不平等の問題は、会社の内部制度や職場環境を改善するだけでは限界があると認識し、日本社会に組み込まれている法制度やジェンダー規範を変えていくためには、連合を中心とする労働運動の展開が望まれると思い、本提言を行いました。

本提言は、雇用における男女不平等への処方箋としてジェンダー平等を目指すものです。しかし、ジェンダー平等が求められる領域は雇用に限られません。連合に集う仲間のもとより、志をともにする仲間とともに運動を展開していけば、日本の未来は必ず変えられると確信しています。

一定時総会・理事会を開催

教育文化協会は、2021年9月16日に連合会館において第9回定時総会を開催しました。定時総会では、2020年度（2020年7月1日～2021年6月30日）決算、役員報酬総額、役員の選任の3議案について提案され、いずれも提案通り承認されました。また、これに先立ち開催した同年6月21日の第37回理事会において、2021年度（2021年7月1日～2022年6月30日）事業計画・予算、特別寄附金の受領の3議案が提案され、いずれも提案通り承認されました。

2021年度も引き続き、本協会の事業目的の達成に向けた取り組みを通じて、労働運動を担う人材育成、労働教育に対するニーズに応えるべく、各事業の質的充実に努めて参ります。

※2020年度事業報告・決算報告および2021年度事業計画・収支予算は、ホームページに掲載しています。

公益社団法人教育文化協会 理事・監事・顧問一覧

理事（34名）

2021年9月16日時点

役職名	氏 名	所属団体・役職（職業）	役職名	氏 名	所属団体・役職（職業）
理 事 長	南雲 弘行	教育文化協会 理事長	理 事	木村 敬一	私鉄総連 中央執行委員長
副理事長	相原 康伸	連合 事務局長	理 事	伊藤 敏行	フード連合 会長
専務理事	木村 裕士	教育文化協会 専務理事	理 事	酒向 清	J E C 連合 会長
専務理事	安永 貴夫	連合 副事務局長	理 事	園田 龍一	交通労連 中央執行委員長
常任理事	村杉 直美	教育文化協会 常務理事	理 事	立川 博行	海員組合 政策局長
常任理事	永井 浩	教育文化協会 常務理事	理 事	佐藤 憲仁	労金協会 常務理事
理 事	八野 正一	U A ゼンセン 副会長	理 事	濱田 毅司	全労済 常務執行役員
理 事	榎本 朋子	自治労 総合企画総務局長	理 事	新谷 信幸	連合総研 専務理事
理 事	金子 晃浩	自動車総連 会長	理 事	塩田 正行	国際労働財団 常務理事
理 事	中澤 清孝	電機連合 書記長	理 事	南部美智代	中央労福協 事務局長
理 事	椎木 盛夫	J A M 副書記長	理 事	細野 誠一	総評会館 専務理事
理 事	和田口具視	基幹労連 前中央副執行委員長	理 事	宮本 礼一	日本労働会館 代表理事
理 事	石川 幸徳	J P 労組 中央執行委員長	理 事	中村 圭介	法政大学院連帯社会 インスティテュート教授
理 事	瀧本 司	日教組 書記長	理 事	廣瀬真理子	放送大学 客員教授
理 事	坂田 幸治	電力総連 会長	理 事	伊丹謙太郎	法政大学院連帯社会 インスティテュート教授
理 事	北野 眞一	情報労連 書記長	理 事	今野浩一郎	学習院大学 名誉教授
理 事	難波 淳介	運輸労連 中央執行委員長	理 事	藤田 親継	生協総研 専務理事

監事（3名）

役職名	氏 名	所属団体・役職（職業）	役職名	氏 名	所属団体・役職（職業）
監 事	小熊 栄	連合 総合総務財政局長	監 事	度会 章仁	日本労信協 代表理事
監 事	松岡 衛	生保労連 中央執行委員長			

顧問（4名）

役職名	氏 名	所属団体・役職（職業）	役職名	氏 名	所属団体・役職（職業）
顧 問	西村 寿紀	元 専務理事	顧 問	岡部 謙治	前 理事長
顧 問	高木 剛	元 R e n g o アカデミー校長	顧 問	古賀 伸明	前 R e n g o アカデミー校長

第9回定時総会にて次の役員が退任しました。

理事 増田 光儀（JP労組 前中央執行委員長） 理事 藤井 喜継（生協総研 前理事）

在任中ひとかたならぬご厚誼を賜り、心より感謝申し上げます。

Rengoアカデミー・第20回マスターコース

～13名が1年におよぶプログラムを修了～

教育文化協会は、「Rengoアカデミー・第20回マスターコース」の修了論文報告会と修了式を、9月21日（火）に連合会館で開催しました。13名の修了生が、2020年11月の開講から約1年にわたるプログラムを修了しました。

第20回は新型コロナウイルス感染症の影響により、ほぼすべてをオンライン（ライブ配信）で実施しましたが、修了論文報告会と修了式は、感染防止対策を徹底した上で、対面とオンライン併用のハイブリッド形式で開催しました。

修了論文報告会では、修了論文の要旨と今後の決意を発表し、ゼミ担当講師から講評をいただきました。その後の修了式では、南雲理事長による主催者挨拶の後、神津Rengoアカデミー会長より、各自に修了証が手渡されました。修了生は1年間を振り返っての感想を全員で共有し、想いを受け取ったゼミナールの先生方からは激励のメッセージをいただきました。中村圭介教務委員長からの講評を受け、最後に、修了生を代表して木本ゼミの古賀初代さん（印刷労連）から謝辞が述べられました。

修了生の皆様のご活躍を祈念するとともに、受講生を送り出していただいた各組織のご協力に感謝いたします。



▲修了式の様子

<Rengoアカデミー・第20回マスターコース修了生・修了論文一覧>

（敬称略）

ゼミ	所属・氏名		論文テーマ
禹	電力総連	岡 昭彦	コロナ禍で見直される対面の価値と労働運動のあり方 — 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）拡大を契機とした労働運動におけるコミュニケーションの方向性の模索と運動のあり方への探究
	JAM	草野 薫	マクドナルドの経験からみる末組織分野の組織化について — これからのオープンショッップ組織化のために —
	運輸労連	那須美沙紀	現場力における労働組合の存在について — EC市場拡大に伴う宅配現場の変化からの考察 —
木本	運輸労連	向後 智美	労働組合における「女性活躍」は他人事か — 全日通労働組合における女性の組合参画のために —
	印刷労連	古賀 初代	中小印刷業における働く女性の環境整備に向けて — 女性の労働組合参画を中心に考える —
毛塚	自動車総連	近藤 大輔	ハラスメントをなくすための労働組合の役割と労働組合の意識改革 — 「組合があって本当に良かった！」その言葉をもらえる日まで —
	情報労連	坪内 佑輔	労働組合における新たな情報連携の考察 — 労働組合界のプラットフォーム作成に向けて —
	自治労	蓮見 牧子	「雇用によらない働き方」と労働者保護 — 働き方の多様化の中で「労働者」とは何かを考える —
高木	情報労連	石神賢一郎	with/afterコロナにおける組合活動 — 労働組合の役割発揮に向けて —
	連合本部	酒井裕美子	若者と労働組合—労働教育は組合と若者をつなぐ鍵—
橋元	運輸労連	今井 瑞希	運輸業界のイメージアップ作戦！ — 運輸業界の社会的地位向上に向けて —
	J P 労組	柏木さおり	組合活動における有効な情報伝達に関する考察 — 現状の課題とSNSの有効活用に向けて —
	自動車総連	島津 達也	グループ労連の組織力強化に向けて — 加盟組合の活動の底上げを目指す —

各受講生の修了論文の内容につきましては、修了論文集を発行し、会員組織に配布しています。あわせてホームページにも論文概要を掲載しておりますのでぜひご覧ください。

第21回Rengoアカデミー・マスターコースのご案内

Rengoアカデミー・マスターコースは、労働運動・社会運動の将来を担うリーダーの育成を目的に、年間をとおして、前期6日間、後期6日間の集中講義を基本に、必修ゼミもおこなないながら、担当講師の指導のもと、修了論文をまとめて1年間で修了するプログラムです。

第21回は11月14日（日）より開講いたします。今年も各組織のご支援をいただき運営してまいります。

「ワークルール検定2021・秋」のご案内

働くときに必要な法律や決まりである「ワークルール」に関する知識を身につけたいという社会的なニーズの高まりを受け、労働法に関わる一般的な知識について検定を行う「ワークルール検定」が、(一社)日本ワークルール検定協会の主催で2013年から実施されています。

教育文化協会は、連合や中央労福協などとともに、本検定の運営に参画しながら、その展開・拡大に取り組んでいます。

2021年11月28日(日)に開催される初級検定と中級検定の受検申込を10月21日(木)まで受け付け中です。

初級検定は、全国30会場で、中級検定は全国4会場で実施予定です。



ワークルール検定協会HP



なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、各会場では例年よりも定員を減らしてソーシャルディスタンスの確保を徹底し、受検中は窓を開放するなどの感染防止対策をいたします。当日はマスクの着用、手指の消毒、検温へのご協力をよろしくお願いいたします。

みなさまの挑戦をお待ちしております。

連帯社会研究交流センター 連続講座のご紹介

連帯社会研究交流センター(ReCSS/通称:レックス)は、連合大学院と密接に連携し、その教育活動を支援する機関です。連帯社会構築にむけてのさまざまな研究交流の機会を企画する中で、連帯社会に関わる研究者の方々に問題提起をいただく「連続講座」を実施しています。各回とも土曜日15:00~16:40の開講です。

今年度も昨年に引き続きZ o o m開催となるため、全国どこからでも参加できます。みなさまのごお申し込みをお待ちしています。

連続講座プログラム一覧

2021年11月6日	テーマ:公務非正規労働従事者の現状と改善に向けた取り組み—NPOの調査研究と政策提言活動から考える 講 師:瀬山紀子(公務非正規女性全国ネットワーク副代表・明治大学ほか非常勤講師)
2021年11月27日	テーマ:プラットフォーム経済と労働者 講 師:浜村 彰 法政大学教授
2021年12月4日	テーマ:「暮らし」のファシズム 講 師:大塚 英志 国際日本文化研究センター教授
2022年1月15日	テーマ:ソーシャル・ビジネスで社会を変える 講 師:鈴木 雅剛 株式会社ボーダレス・ジャパン副社長

※テーマは仮題。後日追加発表あり

連帯社会研究交流センターのホームページ内「イベント・シンポジウム」から、メールフォームに必要事項を記載の上、お申し込みください。 お申し込みはこちらから→<http://recss.jp/event.html>



編集後記

今回のILEC通信も、新型コロナウイルスの影響を受けた内容ばかりになってしまいました。ウイルスに負けないよう、免疫力を向上すべくスパイスを使った料理を毎日作って研究していたら、御徒町の専門店のような品揃えになってきました。スパイスの素晴らしさを分かち合いたくて、ILEC内でカレー部を設立しましたが、未だ構成員2名です。組織拡大中ですので、カレーを作るのも食べるのも好きな方、入部お待ちしております。(ぴー子)